

- 1 単元名 「共に生きよう～誰にでもやさしいまちづくり～」
 ※小単元 「福祉って何だろう？新堀地区探検隊出動！」

2 児童の実態

本学級の児童は、学級や学年の友達に対してお互いの違いを認め合うことができている。また、縦割り活動では、異学年と交流する姿も見られる。学習ではどの教科の学習においても児童同士が積極的に関わり合い、対話的な活動の場面では活発な意見交換が行われている。しかし、児童の周りの人々の中に、高齢者や障がい者と付き合いのある児童は少ない。そのため、高齢者や障がい者が生活するうえでどのような苦労をされているのか知らない児童が多い。そこで、疑似体験をしたり実際に話を聞いたりすることで、相手を思いやり、お互いの違いを受け止めて一人一人を大切にしながら日常生活を送っていきけるようにしたい。

3 研究との関わり

学校研究課題（生活科・総合的な学習の時間）
 「結び付き」で学びを深める ～オーセンティックな授業づくりを目指して～

① 学習内容⇔生活の場面

- ・単元の導入場面では、日常生活の中にある「福祉」とは何かについて考え、知っていることや印象を話し合うことで、「福祉」について関心をもたせる。

② 生活科・総合⇔他教科等

- ・調べた「福祉」についての情報を国語科と関連させ、相手に伝わるように分かりやすく整理して共有する。

③ 自分の気付き⇔他者の気付き

- ・自分の調べたことや友達の調べたことを共有・分析することで、自分とは異なる視点から新たな気付きを得ることができるということを実感できるようにする。

④ 前の自分⇔今の自分

- ・学習する前の自分の考えと学習した後の記述を振り返ることによって、より「福祉」について興味を持ち、自分自身の考えの変化を実感できるようにする。

4 単元の目標

- ・高齢者の思いや願いを理解し、それを基に課題を見つけ、解決するための方法を身に付けることができる。 【知識及び技能】
- ・体験活動や調査して得た情報をもとに、比較・分類等の思考を駆使して整理・分析したり、考えたことの根拠を明らかにしてまとめ・表現したりすることができる。 【思考力・判断力・表現力等】
- ・誰もが住みやすいまちにするために、「自分にできることは何か」の視点を持って活動したり、自分の思いや考えを振り返り今後の自分について考えたりすることができる。 【学びに向かう力・人間性等】

5 単元の評価規準

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
① 新堀地区には、障がいを持った方や外国の方、高齢者など、様々な人々が暮らしていることや、住みよいまちづくりにむけて努力している人がいることに気付いている。	① 高齢者疑似体験などから感じたことを基に課題設定をし、解決の見通しを持って自分にできることは何かを考えている。	① 福祉に関心を持ち、進んで課題を見つけ、自分にできることを考えている。
② 高齢者が、どのようなことに不便を感じているのかについて気付いている。	② 課題を解決するために必要な情報について、手段を選択して収集している。	② 自分と違う意見や考えのよさを生かしながら、友達や地域の人と協働して学び合おうとしている。
③ 高齢者が、どのような思いや願いを持ってせいかつしているのかについて気付いている。	③ 誰もが住みやすいまちになるためにはどうすればよいのかについて、調べたり考えたりしたことをまとめ、相手に伝わるように表現している。	③ 課題解決の状況を振り返り、自分にできることを考え、あきらめずに最後まで活動しようとしている。

6 小単元の展開

探究の過程	○主な活動 ・ 学習内容 「」 予想される児童の反応	※指導上の留意点 ◎評価（観点）	○活用する資料 外部人材など
	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px;"> 小単元1（10時間） 「福祉って何だろう？新堀地区探検隊、出動！」 </div>		
課題設定	○「福祉」とは何だろう？ ・「福祉」について知っていることや印象を話し合う。 「老人ホームのこと。」 「福祉施設のこと。」 「介護施設」 「点字や点字ブロックのこと。」		予想する ウェビングマップ
情報収集	・「福祉について」インターネットや図書で調べる。 「福祉とは、人がよりよく暮らしていくこと。」 「幸せや幸福という意味。」 「生活を豊かにするためのサービスのこと。」 「老人ホームや介護施設のこと。」	思-②課題を解決するために必要な情報について、手段を選択して収集している。	本 インターネット
整理	・調べた「福祉」についての情報を共有し、整理する。 「福祉とは、みんながよりよく暮らすために必要なものだということが分かった。」 「お年寄りや障がいのある人が暮らしやすいように、点字やエレベーター、車椅子などがある。」		
課題設定	○新堀地区の状況を調査しよう！ ・新堀地区にはどんな人が住んでいるのか話し合う。 「昔から長く住んでいる人がいる。」 「新堀地区で働く人が住んでいると思う。」 「私たちのような小学生が住んでいる。」		
情報収集	・新堀地区には、どこにどんな人が住んでいるのか調査する。 「駅の近くには、駅を利用する人が住んでいる。」 「新堀小学校の近くには、昔から住んでいる人が多い。」 「新堀小学校の近くには、お年寄りが住んでいる。」	知-①新堀地区には、障害を持った方や外国の方、高齢者など、様々な人々が暮らしていることや、住みよいまちづくりに向けて努力している人がいることに気付いている。	登下校や休日に出会う人々
整理	・調べたことを整理して分かったことをまとめる。（本時） 「駅の近くには、駅を使う人たち（学生や会社員）が多かった。」 「新堀小学校のまわりには、昔から住んでいる人（お年寄り）も多い。」 「新堀地区で働いている人がいる。」 ・調査を通して明らかになった問題点や課題を確認する。 「お年寄りが多かったが、新堀地区は住みやすいのか。」 「お年寄りにも話を聞いてみたい。」		付箋や新堀地区の地図

7 本時のねらい

- ・自分たちの住んでいる新堀地区には、どこにどんな人がいるのか、調査してわかったことを相手に伝えるように表現している。（思考力・判断力・表現力）

8 本時の展開（8時間目/10時間）

学習活動	学習内容	○指導上の留意点（配慮・手立て） ◎評価 結 結びつきで学びを深める視点
1 前時までの学習を振り返る。 2 本時のめあてを確認する。		○前時までの学習を振り返り、新堀地区にはどんな人々がいるのか予想したことを確認し、本時の課題への見通しを持たせる。
新堀地区には、どこにどんな人が住んでいるのか、整理してまとめよう。		
3 メモを見ながら、情報を整理する。 4 自分の意見をグループで交流し、ホワイトボードにまとめる。	○情報の整理・分析の仕方 ○話の聞き方 ○情報の整理・分析の仕方	○前時までの学習や調査したことを基に、情報を付箋に記入し、グループ学習で整理できるようにする。 ○ホワイトボードに新堀地区の地図を貼ったものを使い、どこにどんな人がいるか整理する。
<p>【予想される反応】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駅の近くには、駅を使う人たち（学生・会社員など）が多かった。 ・新堀小学校の周りには、昔から住んでいる人（お年寄り）も多い。 ・働いている人がいる ・散歩している人がいる 		
5 グループで話し合った結果を共有する。 6 本時の学習を振り返る。		○机間巡視を行い、話合いが進んでいないグループを支援する。 結2 得た情報を個人で付箋に書き出した後、グループで共有し、ホワイトボードにまとめる。 結3 自分では気付かなかった情報を整理・分析するために話し合うことを確認する。
<p>【予想される反応】</p> <p>今日は、新堀地区には、どこにどんな人がいるのか整理しました。整理してみて、新堀地区には、中学生や高校生、お年寄りなど様々な人がいることが分かった。特にお年寄りが多くいたので、今度はお年寄りの方にいろいろ話を聞いてみたいと思った。</p> <p>結4本時の学習について、①どんな活動をしたか②何を学んだか③学んだことをどう生かすかの視点で振り返りを記述させる。</p> <p>◎自分たちの住んでいる新堀地区には、どこにどんな人がいるのか、調査してわかったことを整理している。（思考・判断・表現） 【ホワイトボード、振り返り】</p>		

9 板書計画

新堀地区の状況を調査しよう！

めあて

新堀地区には、どこにどんな人が住んでいるのか、整理してまとめよう。

○活動の流れ

- ① 調査してわかったことを個人で整理する。
- ② グループで意見を共有しホワイトボードに整理する。
- ③ 全体で共有する。

新堀地区の写真
駅

新堀地区の写真
学校の周り

ふりかえり

○ 7：本時のねらいを達成できている児童の振り返りの抽出（振り返りから）



【具体的な場面や教師の効果的な発問】（授業動画を通して）

